

空間デザインと地域デザインの研究

関連するSDGsの国際目標



人間文化学部 生活デザイン学科 講師 佐々木 一泰

研究分野：空間デザイン、コンセプトブランディング、
構法研究（オランダ近代建築）

研究室HP：[//www.shc.usp.ac.jp/ksasaki/](http://www.shc.usp.ac.jp/ksasaki/)

本研究室は実践的に空間デザインを開発し、コンセプトプロモーションから実施空間のデザインを行っています。また、地域の利用方法をワークショップなど実践的な手法を用いてデザイン開発を行っています。

■滋賀県立大学食堂中庭テラス（2009年グッドデザイン賞受賞作品）

大学構内の食堂にテラスを設け、中庭とつないだ計画。短工期、低予算、そして混雑の解消。バリアフリー。既存の空間に床という装置をつくることで、新しい利用方法を引き出しています。



学生によるプロモーション。ダンボール等再生可能な材料による展示什器



シンプルな構成で問題解決する手法、学生との協働、県産材の利用、パーツのユニット化、などが評価された。



東京ビッグサイトグッドデザインエキスポでのプロモーション。D-6. 社会領域：公共・文化教育関連施設

■石山アートプロジェクト2009-2011

- dda賞入選（主催（財）ディスプレイデザイン協会）
- 第1回アーバンデザイン甲子園 準優勝
- 第2回アーバンデザイン甲子園審査員特別賞（主催：日本建築学会近畿支部都市計画部会）
- DSAデザイン賞入選（主催：日本空間デザイン協会）

石山商店街をフィールドに、アーティスト、ハンディキャップの人、地域の人など、さまざまな領域の人とともに、活動を行ったアートプロジェクト。商店街の場所のさまざまな使い方を引き出す実験。



2009年、空き店舗を使ったワークショップにより制作した作品の展示。道行く人からも見える展示方法。



2011年、空き店舗を使った落語のワークショップ。空き店舗だけではなく、地域の余白空間で多くの活動を行った。

■どんぐりけんだいまえ保育園



• キッズデザイン賞、ウッドデザイン賞受賞作品

■びわ枡

（滋賀県産（びわ湖）材を利用した酒枡に関する研究）

